教育ながの

―長野県教育委員会メールマガジン―

第595号
平成24年6月20日

1．ひろば
県中学校長会研究協議会に参加して
～保護者対応に苦慮する学校現場～
長野県教育委員会教育次長　荒深　重徳

2．特集・ミニ特集
教科書の決まり方　教学指導課
アンケート結果の概要　教育総務課
さわやか信州省エネ大作戦・２０１２夏　実施中！　教育総務課

3．今、学校では
読書活動を活用し、よく考え、聴き、表現する子どもを育てる
―泉野小学校の読書活動の実践―
芽野市立泉野小学校
楽しみながら読書に親しむ子どもたち（読書活動）
下諏訪町立下諏訪南小学校

4．現場レポート
太陽のひみつに迫る！
～長野県生涯学習推進センター「金環日食を見よう！」講座より～
教育総務課

5．イベント情報・お知らせ

6．あとがき

ひろば

県中学校長会研究協議会に参加して
～保護者対応に苦慮する学校現場～

長野県教育委員会　教育次長　荒深重徳

長野県中学校長会研究協議会下伊那大会が、６月１日（金）飯田市で開催され、私も来賓として参加させていただいた。

今年度は、相次ぐ教員の不祥事に対して、総会では「大会宣言」とは別に「特別決議」が提案され、「非違行為根絶と学校教育の信頼回復に向けて、教職員の資質向上を図る研修の推進と、互いに支え合う学校づくりに真摯に取り組む」ことが、全員一致で決議された。

そんな中、午後の分科会では、「教育課程」「心の教育」「学校経営」に関する８つの分科会ごとに研究協議が行われた。その中のある分科会では、驚くような学校の現状が事例として語られた。

詳細は学校や個人が特定されることを避けるために割愛するが、例えば、保護者同士の対立が、生徒間のいじめの背景となっているという事例。部活動における部員間のトラブルがもとで、保護者から悪口を言われたり、睨みつけられたりしたという事例。他にも、生徒と、保護者でもある社会体育指導者との対立に関わる事例もあった。

これは、この学校だけの特異な事例かと思って聞いていると、何人かの校長が、自校にも似たような事例があると語り始めた。それを聞いていたある校長からは「保護者対応で苦慮しているのは本校だけかと思っていたが、多くの学校で同じようなことがあることがわかり、正直ほっとした」という趣旨の発言もあった。

これらの発表や発言をとおして、中学校現場が如何に大変な状況にあるか、改めて実感することができた。このような状況の中にあって、校長は、教頭は、学級担任は、部活顧問は、どう対応したらよいのだろうか考えさせられた。生徒間のトラブルだけでも、その関係改善に向けた労力は膨大である。そこに保護者の問題が加わったとしたら、それこそ時間はどんなにあっても足りないであろう。関係する教職員の肉体的・精神的な負担は計り知れない。

教育は、教師と生徒、教師と保護者との信頼関係なくしては成立しない。私が知る限り、信頼関係が崩壊した事例の多くは、教師側の対応の不備に起因している。しかし、この事例においては、全てが教師側のみの責任でもなさそうである。保護者の価値観の多様化が言われて久しいが、このような事例の背景には、我が子のみに思いが向き過ぎ、他との関係の中で、我が子を客観的に冷静に見ることができない保護者側の問題もあり、それが対応を難しくしているのではないか。そんな思いで協議を拝聴させていただいた。

今回の教員の不祥事によって、教育に寄せる県民の信頼が大きく揺らいでしまった事実は非常に重い。それ故に、教師としての在り様を一人ひとりが厳しく、真摯に見つめ直し、心新たに地道な実践をつづける中でしか、信頼回復は図れないであろう。

それは、上記事例のような保護者と保護者、保護者と生徒、保護者と教師、教師と生徒との信頼関係の構築においても例外ではない。時間はかかるであろうが、お互いがじっくりと腰を据えて向き合い、言うべきは言い、聴くべきは聴き、誠実に対応していくという当たり前のことを根負けせずに行っていくことしか、複雑に絡み合った糸をほぐす術はないのではないかと感じた。

目次へ
戻る

特集

教科書を手にとってご覧ください！

小学校や中学校で使われる教科書は、おおむね４年ごとに採択されています。小学校では２３年度から、中学校では今年度から、新しい教科書で学習をしています。その教科書は、どのように採択されるのかを紹介します。

◆教科書採択の概略

◇民間の教科書発行会社で教科書が編集される

⇦

◇文部科学省の教科書検定を受ける

⇦

◇長野県において検定済み教科書の全てについて調査・研究し、その資料を市町村教育委員会に送付する

＊調査・研究は教科用図書選定審議会で行われます

⇦

◇教科書が採択される

＊検定済教科書は、１種目（教科書の教科ごとに分類された単位。例：数学[１～３年]）につき数種類ありますので、この中から学校で使用する１種類の教科書を採択する必要があります。

＊採択の権限は、公立学校については、所管の教育委員会に、国・私立学校については、校長にあります。

◇採択にあたっては、「市若しくは郡の区域又はこれらの区域をあわせた地域」を採択地区として設定し、採択地区内の市町村が共同して種目ごとに同一の教科書を採択することとなっています。長野県では、１２の採択地区で、教科用図書採択研究協議会を設置し、調査員会を経て、小学校・中学校の教科書を採択しています。それぞれの地区で採択された教科書がどの発行者なのかについては、長野県教育委員会のトップページ右側「学校教育」の「教科書ＱアンドＡ」をご覧ください。

また、特別支援学級や特別支援学校では、児童・生徒の障害の種類や程度に応じて、教科書として発行されたものでない一般図書を教科書の代わりに使うことができます。一般図書を使用するにあたっては、毎年採択する必要があります。

◆平成２４年度教科書展示会のお知らせ

◇県民の皆様の教科書に対する関心にお応えするため、小・中・高等学校で使用する教科書を県下１８会場で展示します。また、小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校で使用する図書（今年度、県で調査した２０冊）を県下９会場で展示します。どなたでも自由にご覧になることができますので、お気軽にお出かけください。

◆展示期間

◇平成２４年６月１５日（金）～７月１９日（木）の中で、教科書センターごとに１４日間（各会場の休館日等を除く。）

◆展示会場

◇教科書センター（県内１６ヵ所）、長野県総合教育センター、県立長野図書館

様々な教科書が並ぶ会場。
ぜひ手にとってご覧ください。

◆展示場所、展示期間、開館・閉館時間、休館日などの詳細は、左記のホームページをご覧ください。

◇プレスリリース

http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/kyokasyo/tenjikai.pdf

長野県（教育委員会）プレスリリース　平成24年（2012年）6月8日

教科書展示会を開催します

県民の皆様の教科書に対する関心にお応えするため、小・中・高等学校で使用する教科書や小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校で使用する図書（今年度、県で調査した20冊）を県下18会場で展示します。どなたでも自由にご覧になることができますので、お気軽にお出かけください。

◇ 教科書展示会場一覧 ◇

展示会場	展示期間	展示時間・休館日
佐久教育会館 佐久市岩村田3066-1 （問い合わせ先） 東信教育事務所 ℡ 0267－31－0250	○小・中・高校用教科書 6月15日(金)～7月2日(月) ○特別支援学級及び特別支援学校用図書 6月27日(水)～7月2日(月)	9:00～17:30 （6/23、30は～15:30） ・6/18、17、24、7/1は休館
小県上田教育会館 上田市大手2-7-13 （問い合わせ先） 東信教育事務所 ℡ 0267－31－0250	○小・中・高校用教科書 6月15日(金)～7月4日(水) ○特別支援学級及び特別支援学校用図書 6月15日(金)～6月22日(金)	9:00～17:00 ・土、日曜日休館
上伊那教育会館 伊那市荒井3500-1 いなっせビル4階 （問い合わせ先） 南信教育事務所 ℡ 0265－76－6858	○小・中・高校用教科書 6月21日(木)～7月10日(火)	9:00～17:00 ・6/27、30、7/1、4、7/7、8は休館
諏訪教育博物館 諏訪市諏訪1-23-10 （問い合わせ先） 南信教育事務所 ℡ 0265－76－6858	○小・中・高校用教科書 6月21日(木)～7月10日(火) ○特別支援学級及び特別支援学校用図書 6月21日(木)～6月28日(木)	9:00～17:00 ・6/30、7/1、7、8は休館

◇教科書展示会－附則第９条図書の展示－

http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/kyokasyo/index_husoku9.htm

◇教科書ＱアンドＡ

http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyougaku/kyokasyo/kyoukasyo-QA.htm

■お問い合わせ
教学指導課　総務係、義務教育指導係
Tel：026-235-7433、7434
Fax：026-235-7495
e-mail：
kyogaku@pref.nagano.lg.jp

mini 特集

「教育に関するアンケート調査」概要
～教員勤務実態調査～（小・中学校）

長野県教育委員会では、第２次長野県教育振興基本計画策定の基礎資料とするために、県内の公立小・中学校教員の勤務実態及び、教員・保護者の教育に関する意識等についてアンケート方式により調査しました。お忙しい中ご協力いただいた皆さんに改めて御礼申し上げます。

さて、今月号からはｍｉｎｉ特集と銘打ち、このアンケートの結果について一問一答形式でご紹介します。第１回目の今回は『教員勤務実態調査（小・中学校）』。先生方の勤務時間についてのアンケート結果です。

◆先生の残業時間はどれくらい？

◇小・中学校における１日あたりの平均残業時間は、勤務日、休日共に平成１８年度に実施された文部科学省の全国調査とほぼ同様の結果です（表１）。ですが、昭和４１年度の全国調査では１日約２４分の残業時間であったことをふまえると、今回の結果からは、長期的に見て教員の多忙化が進んできていると言えるでしょう。

◆うーん、４０年間で先生たちは１時間半から２時間程度、忙しくなっているんですね。

◇ですが、教員全員が一様に残業をしているかというと、どうやらそうでもない様子。教員１人当たりで見ると、残業の程度は教員間の差が大きいことがうかがえます。特に教頭先生は４時間１分とダントツ！ほかにも教務主任等の業務分担や児童・生徒数の人数など、環境によって残業時間は大きく異なることが分かりました。

	勤務日	休日
小学校（長野　H24）	2時間19分	2時間12分
小学校（全国　H18）	2時間15分	2時間13分
中学校（長野　H24）	2時間34分	3時間16分
中学校（全国　H18）	2時間32分	3時間5分

（表１）
教員の勤務日・休日１日当たりの平均残業時間

◆どんな業務で残業をしているんだろう？

◇小・中学校共に平日は「成績処理」や「授業準備」に時間をかけていることが分かります。ですが、休日には小学校が平日と同様、「成績処理」や「授業準備」を行っているのに対し、中学校では「部活動・クラブ活動」に時間をかけている点が特徴的です。

◆次回は『教員意識調査』に注目します。

◆詳しい結果はこちら
http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/teireikai/940/940-2-2.pdf

◆第２次教育振興基本計画について
http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousoumu/keikaku/

■お問い合わせ
教育総務課　企画係
Tel：026-235-7423
Fax：026-235-7487
e-mail：
kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

mini 特集 2

「さわやか信州省エネ大作戦・２０１２夏」実施中！

昨年に引き続き、この夏も、全国的に電力需給の逼迫が懸念されています。

長野県では、防犯等の安全確保をはじめ、県民生活や経済活動に支障を及ぼさない範囲で、県民総ぐるみの節電・省エネ運動を進めるための具体的対策を取りまとめ、「さわやか信州省エネ大作戦・２０１２夏」（以下「大作戦」）を展開しています。

教育関係者の皆さんにおいても積極的な参加・協力をお願いします。

◆節電・省エネ目標

◇平日の９～２０時の使用最大電力

平成２２年比▲５％（▲約１５万ＫＷ分）

（県の機関は平日の１３時～１６時の使用最大電力について平成２２年比▲１０％）

◆取組の期間

６月１５日（金）～９月３０日（日）

◆基本の取組

◇節電・省エネアクションメニューの普及と実践

・部屋の室温が２８度になるようなエアコンの温度設定

・不要な照明の消灯

・冷蔵庫の設定温度変更

等々すぐできる節電・省エネアクションをメニュー化

（家庭版、事業者版、県機関版を作成）

マスコットキャラクター「エネ丸」

◇「ピークカットチャレンジ」の実施

・県民、事業者、行政が一体となって節電を試みる社会実験を実施します。

〇日時

７月２５日（水）～７月２７日（金）

８月　８日（水）～８月１０日（金）

※このうち、７月２５日（水）をピークカット一斉行動の日（チャレンジデイ）とし、９時～２０時の時間帯（特に１３時から１６時までの３時間）に取組強化

◇「信州クールシェアスポット」プロジェクトの展開

・夏の暑い日、家の電気を消して、商業施設や観光スポット等に出かけることにより、節電しながら涼しく快適に過ごすとともに、経済の活性化にも資する機会を拡大していくため、県内の「信州クールシェアスポット」を広く募集します。

〇募集期間

６月５日（火）～８月３１日（金）

◇プレミアムエコポイントの拡充

・家庭での節電の取組を支援するため、期間限定で交付している「プレミアムエコポイント」を拡充し、下記期間中は、ＬＥＤなどの高効率照明への買い替えによる節電行動に対してもプレミアムエコポイント」を交付します。（参加は１人１回のみ可能）

〇対象期間

平成２４年６月１５日（金）

～平成２５年３月３１日（日）

・省エネアクションメニューのダウンロード等、詳しくは県ホームページ（次のアドレス）をご覧ください。

http://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/ondanka/honbu/index.html

◆「大作戦」には、「学校等における節電・省エネ教育の推進」も盛り込まれています。

○節電チラシやポスターを活用した節電・省エネ教育の実施。

○小中学校に、電灯等の「スイッチ切る係」の設置などの取組を働きかける。

○市町村教育委員会やＰＴＡなどを通じた取組の周知。

◆学校関係者の皆さんにおいては特に以下の３点の取組みをお願いします。

○節電チラシ（節電・省エネアクションメニュー）などを活用して、節電・省エネに関する児童生徒の実践や意識高揚などを図っていただくとともに、児童生徒等を通じて、家庭に普及していくような取組。

○校長会を通じて依頼しますが、公立の小中学校における、「スイッチを切る係」を設置していただく取組。

○教職員自らが率先して行う節電・省エネの取組。

※学校における節電省エネ対策の参考資料

・文部科学省：学校施設における省エネルギー対策について（教職員向け）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/080501-1.htm

・国立教育政策研究所：学校施設の節電対策に係るシミュレーションについて

http://www.nier.go.jp/03_laboratory/houdou_pdf/houdou_230509.pdf

■お問い合わせ
教育総務課　企画係
Tel：026-235-7423
Fax：026-235-7487
e-mail：
kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

今、学校では①

読書活動を活用し、よく考え、聴き、表現する子どもを育てる
―泉野小学校の読書活動の実践―

芽野市立泉野小学校

文部科学省では、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、優れた実践を行っている学校等を表彰する「子どもの読書推進事業」を行っています。今年度の「子どもの読書活動優秀実践校」には茅野市立泉野小学校、下諏訪町立下諏訪南小学校、長野県松本養護学校の３校が選ばれました。今月と来月の「今、学校では」において、この３校の読書活動を紹介します。今月は泉野小学校と下諏訪南小学校です。

泉野小学校ではめざす子どもの姿を「よく考え・聴き・表現するこども」とし、あらゆる教育活動を通して、子どもたちの思考力・表現力、関係性の高まりを目指してきました。そして、平成２３年度より読書活動を活用し、願う子どもの姿を具現する実践に取り組んでいます。その際、次の３つの柱をたてて、実践を進めてきました。

◆読書活動を活用し思考力・表現力を高める授業づくりの実践研究

各学年で、読書活動（調べ学習）を活用できる単元を構想し、年間指導計画に位置付けます。毎週の研究会の中で実践を報告しあったり、実践事例集にまとめたりして共有し、カリキュラムとしての積み上げを図ります。

◆情報活用能力を高めるための指導計画づくりと実践

情報検索の方法や資料のまとめ方など、情報活用の仕方についての学年ごとの達成課題を検討し指導計画を作成しました。具体的な指導場面でそれを意図的に位置付け、子どもたちに確かな力として意識できるように心がけました。これについても指導事例集としてまとめ、共有しました。

◆児童の読書の質と幅を広げるための取り組みの継続実践

これまで続けてきた左記のような取り組みを一層工夫・改善し、子どもの読書の意欲・質を高めていくことを目指します。

◇朝読書の工夫改善
◇親子読書の継続実践
◇学年別必読書カードの活用
◇全校でお話や語りを楽しむ集会活動の実施
◇読書ボランティアとの交流　など

カイコ学習で調べ学習を進める子どもたち

以上の実践の成果として、児童の思考力・表現力が向上したり、主体的に本に関わり、調べ学習や読書に取り組む子どもが増加するなど、確かな手ごたえを感じてはじめています。また、読書活動を活用した授業実践や読書指導についての教員の意識が高まったのも大きな成果でした。今後も継続した実践に挑戦していきたいと思います。

むかしばなし学習で、教室に集めてもらった本を手に取る子どもたち

■お問い合わせ
茅野市立泉野小学校
〒391-0214
茅野市泉野 2643
TEL：0266-79-3712

目次へ
戻る

今、学校では②

楽しみながら読書に親しむ子どもたち（読書活動）

下諏訪町立下諏訪南小学校

本校は全校で読書活動の充実に取り組んでいます。子どもたちが人とのかかわりを通して、自ら楽しんで読書に向かうことができるよう、さまざまな活動をおこなっています。

◆朝読書・読書の時間の充実

全校で週４日の朝読書や、各学級の週１時間の読書の時間を大事にしています。子どもたちは自分が気に入った本を選んで集中して読むことができています。

◆アイディアいっぱいの読書週間・読書旬間

児童会の図書委員が中心となって、みんなが楽しんで本に親しむことができるよう週間と旬間を計画しています。町のボランティアサークル『お話のへや』の方々のお話会や先生方の読書会も行っています。子どもたちは、どんなお話に出合うことができるか、とても楽しみにしています。子どもたち同士でも、お薦めの本を紹介し合う読書郵便や読書の木などをおこない、本の紹介をしています。

町の『お話のへや』の方々のお話会。
大型のペープサートや影絵もあって子どもたちも大喜びです。

◆仲良し姉妹学級との交流読書

高学年と低学年がペアになって姉妹交流読書も行っています。高学年の子どもが読み聞かせをしたり、低学年の子どもが自分の好きな本を紹介したりする姿もみられます。いっしょに読書をすることを通して、より仲良くなり心の交流もはかれているようです。

姉妹学級で交流読書。
互いが選んだ本を紹介し合うこともあります。

１年生が姉妹学級の６年生に図鑑で調べた生き物について伝えました。

◆楽しみな保護者の読み聞かせ

毎週金曜日の朝読書の時間に、保護者の方々が読み聞かせに来てくれています。ＰＴＡ活動のひとつとして、各学級で熱心に取り組んでいます。今日は誰のお家の方が読み聞かせに来てくれるのか、子どもたちも大変楽しみにしています。

楽しみな保護者の方の読み聞かせ。
学級の子どもに合わせて、いろいろなお話を運んできてくれます。

◆みんなで取り組む町内一斉家庭読書の日

毎月第２日曜日を『町内一斉家庭読書の日』として、町内の小中学校、保育園といっしょに取り組んでいます。子どもたちがお家の方といっしょに読書をすることを通して、家族とのコニュニケーションを深めることができるよう呼びかけています。

◆図書館教育の充実を考えて

各学年の図書館利用年間計画を修正しながら、子どもたちの学習に合わせた図書館の利用を考えています。多くの子どもが、進んで本を読んだり、調べ学習をしたりすることができるよう、図書館環境も整えていくようにつとめています。

今後も多くの方々とのかかわりを大切にしながら、子どもたちが楽しんで本に親しみ、心を豊かに成長していってほしいと願っています。

■お問い合わせ
下諏訪町立下諏訪南小学校
〒393-0045
諏訪郡下諏訪町南四王 5188
TEL：0266-27-5000

目次へ
戻る

現場レポート

太陽のひみつに迫る！

～長野県生涯学習推進センター「金環日食を見よう！」講座より～

世紀の天体ショーと言われた金環日食。この日食を観測する講座が塩尻市にある長野県生涯学習推進センターで催され、約８０人という多くの県民にご参加いただきました。

今回はこの日食観測会の様子をレポートします。

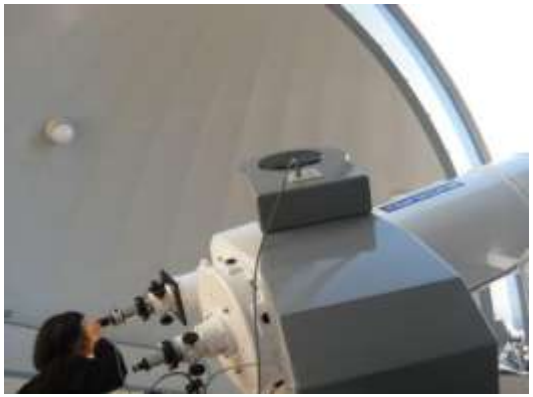
◆センター観測の特徴

センターでの観測では、日食グラスはもちろん、他にも様々な機器を使って観測を行いました。

たとえば望遠鏡。時間が経つにつれて細くなっていく太陽を４台の８ｃｍ望遠鏡でそれぞれ投影し、その様子を観察します。最初は見えていた黒点が月に隠されて見えなくなったり、映し出された太陽の淵が動いている様子から空気の揺れを観察したり、観察のポイントを教えてくれるセンター職員の説明に参加者は釘付けでした。

また、ピンホール板を使用した観察も人気でした。様々な形に穴が空けられた板から映し出される三日月のような形をみんなで一緒に覗き込む様子は、多くの人が集まる観測会ならではの光景です。ほかにも鏡や木漏れ日を使った観察も多くの人に体験してもらいました。

説明を熱心に聞く参加者。
皆さん興味津々です。



大きな望遠鏡で太陽を観察します。
肉眼では見えないところまではっきりと見えました。

また、１５ｃｍ望遠鏡を使った観察もありました。天体観測室にある大きな望遠鏡を一人ひとり覗き込み、日食と太陽の様子を観察します。日食グラスだけで見たのでは欠けた太陽の形しか見られないものも、望遠鏡を使って実際に月が太陽を隠している様子をしっかりと見ることが出来ました。黒点やプロミネンスも観測出来ました。

◆センターで見た感想は？

今回の観測会に松本市から訪れた服部惇（しゅん）さん（７）は「太陽は眩しいけど（望遠鏡を通して）見られていっぱい秘密がわかった。」と楽しげに話してくれました。母の由紀子さんは「思っていたよりずっと楽しかった。ぜひまた講座に来たい。」と語ってくれました。

◆長野県教育委員会は子どもから大人まで様々な方の学習を支援しています。今回観測講座を行った生涯学習推進センターは、

市町村や地域の生涯学習の振興や、生涯学習によるまちづくり・ひとづくりを支援するための県の機関で、研修事業や情報提供事業、研究開発事業を行っています。そんなセンターでは随時多くの楽しい講座を開設しています。是非一度参加されてみてはいかがでしょうか。（文責：伊藤仁美）

色々な形の投影。（写真は三日月の光で映し出されたスマイルマーク）

◆生涯学習推進センター：
http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/

◆平成２４年度の講座一覧：
http://www.nagano-c.ed.jp/shogai/H24kouzakeikaku..pdf

◆記事全文はこちら
http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/kyousoumu/koho/09report/report6.pdf

■お問い合わせ
教育総務課企画係
Tel：026-235-7423
Fax：026-235-7487
e-mail：kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

イベント情報・お知らせ

研修講座のご案内

◆長野県生涯学習推進センター　※受講は無料です。

タイトル	日時	講義・実習	講師	備考
生涯学習推進講座「学びをつなぐ公民館」	7月4日(水) 10:00～ 16:00	講義・演習「ふりかえりながら、歩を進める」	廣瀬隆人　宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授	
男女共同参画フォーラム	7月7日(土) 13:00～ 15:50	基調講演「女（ひと）と男（ひと）の認めあい、支えあい～多様性を活かす社会へ～」・シンポジウム	松岡英子　信州大学女性研究者支援室室長・教育学部教授	岡谷市「あいとぴあ」で開催
生涯学習推進者実践講座【５回連続講座】①	7月19日(木) 10:00～ 16:00	講義「これからの生涯学習～基礎～」・情報交換	白戸洋　松本大学総合経営学部教授	11月までに1回ずつ実施
家庭・幼児教育講座「豊かな心を育む子育て」	7月24日(火) 10:00～16:00	講義「今、子どもにつける力と、家庭や地域の大人の役割」・事例発表（NPO法人響育の山里「くじら雲」の実践）・情報交換	門脇厚司　筑波大学名誉教授・茨城県美浦村教育長	託児可
生涯学習推進講座「笑顔が輝く学校と地域」	8月3日(金) 10:00～ 16:00	講義「地域の力で子どもが育つ！地域も育つ！」・事例発表（塩田中学校の実践）・情報交換	岸裕司　習志野市秋津コミュニティ顧問	

＊「備考」欄に会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

■お問い合わせ
長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
Tel：0263-53-8822
Fax：0263-53-8825
e-mail：shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

◆県体育センター

どなたでも開催日の前日まで受講申し込みができます。（６月２０日～７月２０日開催分）

タイトル	開催日	定員	会場	講師
小学校の実技指導法～体つくり運動、表現リズム遊び・表現運動、水泳～	６月21日（木）、22日（金）	20名	スカイパーク体育館	子どもの体力向上指導者研修受講教諭
人生はピンピン☆きらり！	６月23日（土）	40名	松本大学	根本賢一　松本大学准教授
NEW 脳の発達と子どもの運動～柳沢運動プログラムの理論と実践～	６月23日（土）	40名	東御市総合福祉センター・東御市中央公園第２体育館	柳澤秋孝　松本短期大学教授
	７月14日（土）	40名	長野市豊野公民館・長野市豊野体育館	
NEW 戦術学習で…ボールゲームを楽しもう	７月10日（火）	40名	スカイパーク体育館	岡出美則　筑波大学教授
中学・高等学校の実技指導法～体つくり運動、器械運動、サッカー、バレーボール～	７月12日（木）、13日（金）	40名	スカイパーク体育館	子どもの体力向上指導者研修受講教諭

■お問い合わせ
長野県体育センター
〒390-1131　長野県松本市大字今井 3443
TEL：0263-86-0218　FAX：0263-86-0204
ホームページ：
http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/taice/index.htm

イベント・募集

◆平成２４年度ふれあい自然体験キャンプ

ふれあい自然体験キャンプは、不登校の児童生徒を含めた小中学生を対象に平成７年より始まりました。今年で１８回目を迎えます。参加するには、事前の申込みが必要です。詳しいことは下記までご問い合わせください。

期日	８月７日（火）～１１日（土）４泊５日
実施場所	長野県阿南少年自然の家
参加対象	長野県内の小学３～６年生と中学生 定員５０名
費用	２０，０００円 （食事代、寝具代、保険代、材料費など）

■お問い合わせ
文化財･生涯学習課
TEL: 026-235-7437
FAX: 026-235-7493
e-mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp
HP:
http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/syougai/kashokai.htm

◆第３４回「スポーツ天国」開催について

いよいよ今年も「スポーツ天国」が間近に迫ってきました。

今年度は信州に誕生した４つプロチーム（松本山雅ＦＣ、ＡＣ長野パルセイロ、信濃グランセローズ、信州ブレイブウォリアーズ）の選手との交流や障がい者スポーツの交流と体験を新部門として加えて開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

タイトル	日時	場所
第３４回「スポーツ天国」について	7月7日（土） マレットゴルフは7月4日（水）	松本平広域公園（信州スカイパーク）

◆７月の「一般体力測定」実施について

日頃の運動不足解消に、体力測定は如何でしょうか？無料で体力測定を受けられます。ふるって御参加ください。

７月の測定実施日は１８日（水）と３１日(火)となっております。

なお、事前の申し込みが必要です。

■お問い合わせ
長野県体育センター
〒390-1131　長野県松本市大字今井 3443
TEL: 0263-86-0218　FAX: 0263-86-0204
ホームページ：
http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/taice/index.htm

◆２０１２県民スポーツフェスティバル参加者募集

スポーツ・レクリエーション活動の場として、相互交流を深め、健康で豊かなスポーツライフの実現のために、スポーツフェスティバルを開催します。

日時	会場	申込期間	競技の部	ふれあいスポーツの部	イベント広場
県大会　１０月１４日（日）	松本平広域公園他	７月６日（金）～９月３日（月）	陸上競技、ソフトバレーボール、ラージボール卓球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、小学生相撲、キンボール、ペタンク、トリオボウリング、ゲートボール、マレットゴルフ	ノルディックウォーキング、ビームライフル、バリアフリーディスクゴルフ、ペタンク、キンボール	あそびの広場、健康の広場

※競技の部のみ事前申し込み、参加料が必要です。（ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフは、各競技団体を経由して申し込みます）

◇ランチタイムイベントでは、「スポスタフェスティバル」として、ながのスポーツスタジアムに参加する学校、学級の皆さんによる、「クラスで８の字ジャンプ」の取り組みと演技の発表をします。

◇県大会の他、県下２０会場で「地域版」を開催します。総合型地域スポーツクラブや実行委員会が主体になって進めるこの企画にも、ぜひご参加ください。

◇詳細は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/taiiku/kenfes/kenspo.htm

■お問い合わせ
スポーツ課内
県民スポーツフェスティバル実行委員会事務局
TEL: 026-235-7449
FAX: 026-235-7493
e-mail:
sports-ka@pref.nagano.lg.jp

◆長野県立歴史館　春季企画展・夏季展　連続講座「昭和の戦争と信州」

県立歴史館春季企画展・夏季展の連続企画として、昭和の戦争と信州の関わりについて連続講座を企画しました。

場所	日程	時間
長野県立歴史館	◇第１回　６月３０日（土） 「戦争は避けられなかったか」 ◇第２回　７月１４日（土） 「今語り継がなくてはならない、満蒙開拓の歴史」 ◇第３回　７月２８日（土） 「長野県の歴史編纂と戦争の関わり」 ◇第４回　８月１１日（土） 「招魂社・忠魂碑・陸軍墓地～戦死者はどう祀られてきたか」 ◇第５回　８月２５日（土） 「戦前の庶民のくらし」	午後１時３０分から

■お問い合わせ
県立歴史館 総合情報課
〒387-0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000　FAX：026-274-3996
e-mail：rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県立歴史館　春季企画展　長野県の満洲移民　～三つの大日向をたどる～

昭和の初め、長野県から３万人を越える人々が満洲に移民しました。南佐久郡大日向村（現佐久穂町）は、全国に先駆けて満洲への分村移民を決断した村です。

今回の企画展では、南佐久郡大日向村から満洲へ、さらに軽井沢町大日向地区へと三つの大日向を生きた人々の足跡をたどります。そこで満洲へ渡った人々の心情に迫り、戦争の悲惨さと平和の尊さを考えます。

場所	長野県立歴史館
開催期間	平成２４年５月２６日（土）～７月１６日（月・祝）
開館時間	午前９時から午後５時まで（入館は午後４時３０分まで）
休館日	毎週月曜日（ただし７月１６日は開館）
観覧料（常設展共通）	◇大人　５００円（４０００円） ◇高・大学生　２５０円（２０００円） ◇小・中学生　１２０円（１０００円） ※（　）は２０名以上の団体

※次の方は無料です。
◇平日、学校の教育活動として観覧する県内の小・中・高生
◇身体障害者手帳などの交付を受けている方とその介護者
◇土・日曜、祝日及び振替休日に観覧する小・中・高・特別支援学校生

◇映画会

タイトル	開催日時
嗚呼満蒙開拓団	平成２４年６月２３日（土）午後１時３０分～

◇満州を語る

タイトル	開催日時
二つの祖国を生きて～中国帰国者二世の経験から～	７月７日（土）午後１時３０分～

■お問い合わせ
県立歴史館　総合情報課
〒387-0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000　FAX：026-274-3996
e-mail：rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県立歴史館講座　「古代信濃の王」

平成２４年度の考古学講座は、「古代信濃の王」と題し、全４講座（うち１回は遺跡探訪会）を開講します。

県立歴史館の職員が、わかりやすく解説しますので、考古学に興味を持ち始め、学習の機会を求めている方等には、とても良いきっかけの場になると思います。

ぜひ、県立歴史館の考古学講座にご参加ください。

会場	長野県立歴史館
日程	◇第２回　６月２４日（日）「王国の広がり」 ◇第３回　７月２１日（土）「大王と王」 ◇遺跡探訪会１０月２７日（土）
時間	午後１時３０分から午後３時まで
申込	所定の申込書の提出が必要です。（通年予約制。当日受付も可。）
参加費	資料代として、１回２００円をいただきます。なお、遺跡探訪会は他に別途参加費がかかります。

■お問い合わせ
県立歴史館 考古資料課
〒387－0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000　　FAX：026-274-3996
E-mail　rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県埋蔵文化財センター速報展　「長野県の遺跡発掘２０１２」

平成２３年度、（財）長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センターなどで調査を行った２２の遺跡から発掘した出土品をいち早く公開しています。

中野市南大原遺跡の弥生時代の集落跡からの出土品や、飯田市鬼釜古墳から出土した玉類や馬具などが見どころです。

また、県内初出土の「筆立て付き円面硯」の破片（長野市浅川扇状地遺跡群）なども展示しておりますので、この機会にぜひご覧ください。

場所	伊那文化会館
開催期間	７月２８日（土）～８月１９日（日）
開館時間	午前９時から午後５時まで（入館は午後４時３０分まで）
休館日	７月３０日（月）・８月６日（月）・１３日（月）
観覧料	無料

◇遺跡調査報告会・講演会

開催日時	８月１１日（土）午前１０時３０分から午後３時まで
遺跡報告会	◇箕輪町上の林遺跡の調査（箕輪町教育委員会） ◇馬が殉葬された古墳（飯田市鬼釜古墳）
講演会	「天竜川流域の古墳文化」
講師	飯田市教育委員会　小林　正春　氏

■お問い合わせ
伊那文化会館
〒396-0026　伊那市西町 5776
TEL: 0265-73-8822　FAX: 0265-73-8599
e-mail : info@inabun.or.jp

◆第５回学ぶちから・学校力専門委員会開催概要を掲載しました
◆平成２４年度中学校生徒の公立高等学校体験入学実施計画を掲載しました
◆現場レポートＮＯ．６『太陽のひみつに迫る！』（ＰＤＦ形式：１５８ＫＢ／２ページ）を掲載しました
◆放射線等教育に関する情報を掲載しました
◆長野県生涯学習審議会委員を募集します
◆人権教育指導資料集「人権教育を進めるために」を掲載しました
◆第９４２回長野県教育委員会定例会を開催しました
◆小学校外国語活動教材「Ｈｉ，ｆｒｉｅｎｄｓ！」の音声ＣＤを掲載しました

あ と が き

メールマガジン７月号をお送りします。

蒸し暑い日が続きますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

暑いのは苦手ですが、美味しい野菜や果物の時期が近づくことは楽しみな（ひ）です。

先日、かねてから行っている農園にトマトやナス、ピーマンといった野菜の苗を植えました。ある日様子を見に行くと、親に似てか空に向かってではなく地面に倒れて成長しているひねくれ者もいましたが、あまり手をかけられない中どこまで大きくなってくれるか楽しみです。

これから暑い夏が始まりますが、美味しい野菜を食べて乗り切りましょう！（ひ）

目次へ
戻る